

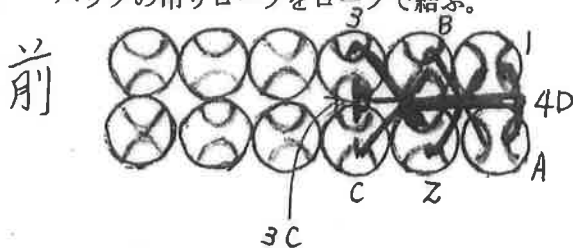
安全作業手順書

制定 平成 15年 11月 21日
改正 平成 16年 10月 2日

作業名	NO. 1 農業用カッター積込作業	課・所・係名 作業場所	(株)斎藤農機製作所構内
作業人員	A. 運転手 B. フォークリフト運転手(エスケーター社員)	資格技能	大型 普通自動車運転免許証 フォークリフト運転技能講習終了者
使用機械 器具・材料	シート(内掛け、外掛け)専用ロープ、 専用蓋、毛布	保護具 安全設備	保安帽・安全靴・保護手袋 安全带・踏み台
作業区分	作業手順	誰が	急所
作業打合せ	1. 周囲の安全を確認して積込場所に 車両を駐車する。 進入に際してはリフトマンの誘導を 必ず受ける。 2. フロントタイヤに輪止をする。 3. 積込の種別、数量の確認	A B A B A A B	1. 必ず後進の形で進入することを徹底する (路上駐車は、絶対しない。) 人がいる場合は声を出して車の進入 を知らせる。 2. 積込中の車両の動きを止める。 3. 積込オーダーをしながら製品チェック。 ドライバーと一緒に観ることで製品の 誤出荷を防ぐ。
本作業	1. 片側だけ煽りを開く。 2. 踏み台を使い荷台の上に立ち位置し専用蓋 の上にセットする。 3. 誘導者は側面中央に位置しリフトマンに声 を出して合図し積み付け位置に荷物を 誘導する。	A A A B	1. 反対側よりの落下防止。 2. 製品に傷を付けないようにする。 3. リフト運転から見て荷物の後に入らぬ ように側面に位置をとる。 (リフトマンの死角に注意する) (荷台からの転落防止) 機種、数量、位置は正しいか 破損はないか確認。
ロープ掛作業	4. 荷物は、荷台前方より積込する。 5. 製品の数だけ繰り返す。 6. 片側が終わったら反対側も同じく1~4. 繰り返して 誘導者は踏み台を使用して降りる。 7. 煽りを上げる。 1. 荷物を点検する。 2. 専用ロープを点検する。	A B A B A B A A A	5. 安全確認。 6. 足元確認注意。安全確認。 荷台上より飛び降りたりしない。 7. 周囲の安全確認。 2. 著しい損傷、腐食、積み荷に適合してい るか確認。 3. 反対側に危険が無いことを確認する。 ロープを掛ける前は絶対に荷物の 上には上がらない。 4. 周囲の安全確認。
シート掛け 作業	3. ロープの端をフックに掛け積み荷の上 を反対側に投げたらす 4. 製品の数だけ3番を繰り返す。 5. 反対側に廻りロープが適正な位置に なっているか確認する。 6. ロープを少し引っ張る。 7. ロープにセットしてある角当てを、角に 当てがう。 8. 本締めをしロープを結ぶ。(止める)	A A A A A A	6. ロープがフックから外れてないか確認。 7. ロープの損傷を防ぐ為。 ロープ掛け前の不安定な荷物の上には上がらない 8. 姿勢を低くして作業をする。 外れたとき、切れたときの怪我を防ぐ
作業終了	9. ロープの数だけ3~8番を繰り返す。 1. シートを掛ける位置に車を移動する。 2. 安全带を天井より下げてあるロープに 掛けてから、7つの角に毛布を掛け シートを掛ける。 3. 昇降は必ず運転席のステップを利用し途中から の昇り降りは禁止する。	A A A A	1. 後方確認。 2. シートが切れるのを防ぐ。 転落防止。 3. ステップからの落下注意 (足下確認)
	1. 不使用の物を整理して、忘れ物をしない。 2. 車両を一巡し、汚れている所を掃除する。 3. 担当者から伝票をもらい説明を 受ける。 4. フロントタイヤの輪止めを外す。	A A A A	1. 整理、整頓。 2. 忘れ物、車両の異常、汚れている所の 掃除。 3. 品名、宛先確認。 4. 進入時と同様、出発するときは最徐行 を厳守する。

安全作業手順書

制定 平成 11年 9月 4日
改正 平成 13年 1月 1日
改正 平成 15年 5月 10日

作業名	NO.	課・所・係名 作業場所		
作業名	パーライトフレコン積込作業	日本パーライト工業株式会社		
作業人員	運転者 A 助手 B ローダー運転手 (SKT荒川) C	資格技能	大型自動車運転免許 タイヤローダー技能資格	
使用機械 器具・材料	10t車 タイヤローダー (日パ所有)	保護具 安全設備	保安帽・安全靴・保護手袋・ホイッスル 梯子・踏み台・保護メガネ・安全帯	
作業区分	作業手順	誰が	急 所	
作業準備	1. 事務所で積荷の品名及び個数トラック番号、数量等を記入 (積込記入用紙) 2. 車を積込場所へ移動し、フロントタイヤに輪止めをし、煽りの柱に毛布をかける。	A A B	1. 製品の積み違い、個数の間違いのない様に (挨拶は、大きな声です) 2. 左右前後、作業員、ローダー等の動きに注意	
本 作 業	1. 積込記入用紙に、ロット番号、重量を記入する	B	アオリの柱に、毛布を掛ける。(破袋防止)	
	2. ローダーのフォークのフックにフレコンバックの吊りロープを掛ける	B C	1. 番号、重量の記入間違いは絶対無い様に破袋フレコンを見つけたら荒川に連絡する。	
本 作 業	3. ローダーにフレコンバックの置く位置を指示し、誘導する。 一段目は両サイド煽りに寄せて、二段目は荷台中央で、あわせる。一段目のフレコンは、上部を平らに踏みつけて置く。	A C	2. 自分の足元をよく確認し、ローダーの動きに注意しながら吊りロープを掛ける。ロープとローダーのフックの間に手を挟まれないようにOKの合図をする	
	4. 1~3 を繰り返す。	A B C	3. 積み荷の安定	
	5. ローダーでフレコンを、前に詰めるために、五列目から横に振るときは、ローダーに近づかない。	A C	4. 煽りと吊り荷の間及び吊り荷の下には入らない	
	6. 積込終了したら後ろから3列分のフレコンバックの吊りロープをロープで結ぶ。	A B	5. フレコンに触れて転落するおそれがある。	
本 作 業		A B	6. (輸送途中の荷崩れ防止) 積み荷の上を歩く時は、ロープ、吊りロープ、製品の隙間に注意 (足元確認) ロープを引く時は、自分の背を荷の広い方に向ける事 (転落防止)	
		A B	7. 水濡れ防止	
作業終了	7. シートは、中掛け一枚と大きいシートを1枚掛ける。(作業手順書3-2トラックのシート掛け作業に、準ずる)	A B	7. 水濡れ防止	
作業終了	1. シートのゴム切れは無い点検する	A B	1. シートのばたつきと、荷の抑え	
	2. 事務所より発送伝票をもらう	A	2. 行き先、積荷、個数、着日、時間の確認	
	3. 車両を一巡する。	A	3. 車両の異常、備品類の置き忘れに注意する。	
	4. フロントタイヤの輪止めを外す。	A	4. 進入時と同様に、構内より出るときは最徐行を厳守する。	